

令和6年度事後調査報告書についての委員意見
案件名 （仮称）神戸道場町太陽光発電所建設事業

No.	委員からの質問・意見		事業者回答
1	p.10 2.3.9(1)⑧ 地球温暖化 p.61 4.8.1(3)② 表4.8.3左欄	「運搬を平準化」とあるが、運搬の平準化をしてもトータルの車両台数は同じなので、CO2の発生量は減らないのではないか。 平準化によりNO2やSPMのピーク濃度を下げる効果はある。なお、p.18 表4.1.4の上から2つ目、左欄の「標準化」は「平準化」の誤記。	ご意見にありますCO ₂ の発生量の抑制にはなりませんので、「・工程調整等により～抑制に努める」の文章は削除いたします。p.18 表4.1.4については、ご指摘どおり「平準化」に修正いたします。
2	p.16 4.1.1(5) 2、3行目	風向風速についても「環境保全の目標値を下回っていた」と読める。 また、図4.1.1は表4.1.1の誤記。正しく伝わるように修正すること。	文章を次に示すとおり修正いたします。「大気質の測定結果は表4.1.1(1)～(3)、風向風速は図 4.1.2に示すとおりである。また、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、環境保全の目標値を下回っていた。」
3	p.21 4.1.3 5、6行目	「（前の行を受けて）いずれの項目においても」とあるので車両台数や風向風速についても「環境保全の目標値を下回っていた。」と読める。誤解のないように修正すること。	ご指摘の箇所の文章を次に示すとおり修正いたします。「なお、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、調査結果の平均値(期間平均値)が予測結果の平均値(年平均値)よりも上回っていたが、環境保全の目標値を下回っていた。」
4	p.18 4.1.2施設 調査（大気質） 図4.1.3	R 7 / 2 - 3 月に交通量がかなり増えているのは土砂搬出の関係でしょうか	ご指摘のとおり、残土の場外搬出の車両が増加したためです。
5	p.20～22 4.1.3	予測と現地調査で、評価地点、工事車両台数、風配図が大きく異なる。 これらの理由を述べ、NO2やSPM濃度の予測結果について評価すること。 「環境保全の目標値を下回っていた」（2 1 頁、6 行目）から、よしとするのではなくて、調査結果が予測を上回った要因について考察すること。	工事車両の走行は、これまでの工事区域周辺の地元住民との協議を重ね、走行ルートを当初より変更しており、それに伴い現地調査地点は予測地点と異なっています。また、残土の場外搬出は当初の予定になく、工程上、可能な範囲で規模や数量の調整を行いました。調査結果はP20に示す調査地点で行ったデータとなります。調査地点は周辺が山や谷に囲まれており、局所的な影響を受けやすい地点と考えられます。また、予測時の風配図は春季の期間(3カ月)のものであり、調査結果は短期的な期間(2週間)のものであるため、風配図が異なる要因であると考えられます。 調査結果が予測を上回ったのは、調査時の台数(大型車193台/日、小型車183台/日)が予測条件とした工事車両台数(大型車40台/日)よりも多かった